

第4学年1組(23名)

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 城谷 綾

日時

平成30年10月24日(水)5校時

単元名

生口島・高根島の宝人調査プロジェクト～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力, 主体性, 自己肯定感

1 単元について

(1) 単元観

生口島・高根島は、米作りの環境が悪いけれど昔米作りをした時期がある。この島の発展を尽くすために名荷用水を掘り起こしたり、住民が飢饉で苦しんだ時には、芋を作って安心な町づくりを目指して広範囲を歩いて情報を発信したりした先人の歴史がある。

また、地元の特産品であるレモンを使って多くのお菓子を作っている菓子店「島ごころ」の社長は瀬戸田町出身である。生口島の特産であるレモンに惚れ込み、その特産を生かした産業を盛り上げようと日々商品開発をして努力を重ねている。更に、社長は国内の活動に留まることなく海外へのコンテストにも積極的に参加している。また、耕三寺博物館は耕三寺耕三さんが母のことを思い、生口島の地域発展に貢献して文化を受け継ごうとした建造物である。

このような、生口島・高根島の町づくりにかかわってきた人やこれらの宝である文化や伝統を受け継ごうとしている人に聞くことを通して、自己を見つめこの町づくりにかかわってきた人を未来に伝えるためにどうしたらよいかという課題を設定し、解決していくための手段や方法を考え「課題設定・解決力」を身に付けることをねらいとする。また、地域の人々の話を聞く活動を通して、児童は相手の話す意図を考えて聞くことが大切だと気付くとともに、どの宝人の話も、この島に住む人々のために尽くした方々であり、過去を知ることで、未来の社会の一員として働くとき何が必要なのか宝人のすばらしさを理解する「地域への愛着・誇り」をねらいとして単元を設定した。

このように、生口島・高根島の発展に尽くした宝人に触れることで、生口島に住んでいる人の魅力を発見し生口島・高根島で働く人や地域の方がこれからどんな町になってほしいのか思いに学ぶことができると思う。

(2) 児童観

本児童は、1学期の総合的な学習の時間において福祉について知り、楽生苑の利用者が楽しんでくださる交流内容を考え実際に歌やええじやんの踊り、手紙を読むなどの交流体験をした。この活動を通して、児童は「利用者と交流した時に一緒に歌を歌ってくれたり、手拍子をしてくれたりと喜んでくださったので、楽しみながら交流できた。」と振り返っていた。お年寄りの方は遊びや戦争など昔の出来事に詳しくたことを知り、他にも自分ができることがあるのではないかと考える児童もいた。また、この島内には楽生苑以外に多くのお年寄りの方がたくさんおられることを人口分布図で把握しているので、地域のお年寄りにも自分たちが何か交流できることはないだろうかという視点を広げている児童もいた。

1学期終了時に行ったアンケートの結果、95.6%の児童は「自分たちが住んでいる生口島・高根島がいい所だと思う。」と回答した。理由は、きれいな景色や豊かな自然があることを挙げている。ま

た、人がやさしいという印象を持っている。これらの理由を書いた背景に、低学年で高根島の遠足や海の生き物探し、第3学年「町のお宝見つけ隊」について学習した活動が影響していると思われる。

しかし、この島の宝であるものは地域の方が大切に受け継いできたものということを実感していない。そこで生口島・高根島に宝を受け継ごうとかかわってきた人やこれからこの島の宝を生み出そうとしている人は誰だろうという課題を設定し、課題を解決するために地域の方に積極的に聞き取りをさせる。

(3) 指導観

指導にあたっては、昔塩田が盛んであった地域と今の町の様子が撮られている写真を複数提示し、今と昔の町の相違点に気付かせる。地域の宝をつくってくれた人や残してくれた人、これから町づくりを生み出そうとしている人について興味・関心を持たせる。そして自分が調べたい宝人が、どんな思いで町づくりの発展に尽くしたのかまたは、生み出そうとしているのか課題を設定し、地域の方やその宝人について詳しい人の話を聞く。

まとめ・表現においては、聞き取り調査やインタビューをして得た宝人について誰にどんな方法で発信するとよいか相手意識・目的意識を明確にする。家族や地域の方に聞き取り調査をして得た情報や働く人の思いを整理させたり、情報を発信する際には、どのようにすれば分かりやすくなるか友達と相談したり、新聞社の記者に情報収集の仕方や新聞の構成や表現について質問したりする時間を確保する。

2 単元の目標

地域の人との関わり合いを大切にしながら、生口島・高根島の町づくりの発展に尽くした宝人について聞き取り調査をする活動を通して、自分たちの住む生口島・高根島の町の良さを理解し、宝人の生き方についてすばらしいところを新聞にまとめることができる。

3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

| 育成したい 資質・能力 | 本単元の学習を通して目指す姿 | | |
|------------------|--|--|---------------------------------------|
| | A | B | C |
| 課題発見 ・ 解決力 | 地域の人や家族に進んで聞き取り、課題に対して結果をまとめ、新たな課題を見出している。 | 地域の人や家族に聞き取り、課題に対して結果をまとめることができる。 | 地域の人や家族に聞き取った情報が少なく、その情報の中から宝だと書いている。 |
| 主体性 | 伝える相手のことを考えて情報を選び、見る人にうったえかけるような書き方をしている。 | 伝える相手のことを考えて情報を選び、自分の言葉に言い換えて書いている。 | 情報をそのまま写して新聞を書いている。 |
| 自己肯定感 | 学習を振り返り、自己や友達の良さや頑張りを認める。生口島や高根島の宝人のすばらしさに気付いた事を書いている。 | 学習を振り返り、自己や友達の良さや頑張りを認める。生口島や高根島の宝人のしたことについて書いている。 | 学習を振り返り、生口島や高根島の宝人のしたことについて書いている。 |

4 指導計画（39時間）（本時20／39）

| 次 | 月 | 学習内容 | 時数 | 探究の過程 | 評価規準 (B)【評価方法】 | 関連する教科 |
|-----|---|--|-------|--|---|---|
| 第一次 | 8 | ○ 自分たちにとっての生口島・高根島の宝について話し合う。 | 2 | 情報の収集 | C①地域の宝について自分の考えをまとめることができる。 【発言・行動観察】 | 国語「目的に合わせて調べよう」 |
| | 9 | ○ 自分たちにとっての島の宝は、どの世代にとっても同じ宝なのか調べる方法を考え、調査する。 | 1 | 情報の収集 | E①課題を解決するために、家族や地域の方に主体的に聞き取って調べようとしている。 【行動観察・ワークシート】 | 社会「きょう土の発展につくす」 |
| | | ○ 新聞記者の方は、この島の宝をどのように見つけ、記事にしているのか聞いたり、記者の方にとっての宝の視点を聞いたりする。 | 2 | 情報の収集 | E②新聞記者が記事に載せるために努力している地域の宝の見つけ方や記者にとっての宝の視点についてメモを取りながら聞いたり、質問したりしている。 【行動観察・ワークシート】 | 道徳 「あいさつができた」 国語 「メモの取り方をくふうして聞こう」 |
| | | ○ 学習の見通しをもち、学習計画を立てる。 ・お年寄りの方が子供の頃はどんな町だったか調べる。 ・宝人について詳しい人はいないか地域の人に聞き取る。 ・家族 ・インタビューが可能な地域の方の情報を集める。 | 1 | | C②進んで地域の方や保護者等とコミュニケーションをとり、島の宝について詳しい人はいないか調べる方法を考え ている。 【行動観察】 | |
| | ○ 聞き取り調査や新聞記者の話を聞いて分かったことをまとめる中で、疑問点や調べてみたいことを考える。 ・この島にレモンの苗を初めて持ち込んで育てた人 ・高齢者にとってすみよい町をつくった人、または楽生苑を建てようとした人 ・耕三寺（を建てた人） ・海（をきれいにしている人） | 2 | 課題の設定 | C③島の宝になるまでに関わってきた人に興味関心をもち、その人について調べる方法を考える。【ワークシート】 | | |

| | | | | | | | | |
|-----|----|---|---|--------------------------|---|-------------------------------------|--|---|
| 第二次 | 10 | ○ 調べてきた宝人について誰にどんな方法で知らせたいか話し合う。 | 1 | 課題の設定 | C④相手意識をもって自分が調べてきた宝人が、より伝わる方法を考えている。【発言】 | 国語「みんなで新聞を作ろう」 | | |
| | | ○ 自分たちが作る宝人新聞が読み手の関心をひきつけるための方法を考える。 | 1 | 情報の収集 | | | | |
| | | ○ 中国新聞社の方に新聞の「構成」「書き方」の工夫を教わる。 | 1 3 | 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現 | | | C⑤目的意識と相手意識をもって自分たちが調べて分かったことや未来へのメッセージの伝え方を考えて書いている。 【ワークシート・行動観察】 | |
| | | ○ 地域の宝人について調べて分かったことを宝人新聞にまとめる。 | 1 | まとめ・表現 | | | G①生口島や高根島の発展に尽くした先人のすばらしさに気付く。【ワークシート】 | |
| | | ○ 自分の地域の宝人新聞の途中経過を読み合い、文章構成や書き方の工夫を見付け、改善する。 | 1 | まとめ・表現 創造 | | | C④宝人新聞の自分の考えが伝わるよう構成や見出しを工夫、改善しながら書き直している。【ワークシート】 | |
| | | ○ 改善点をもとに宝人新聞をつくる。 | 2 | まとめ・表現 | C⑥宝人のよさが読み手に伝わる記事を書いている。【新聞】 | | | |
| 第三次 | 11 | ○ これまで調べてきた宝人は町づくりの発展に尽くすために何を大切に働いてきたのか共通点を見つける。 | 1 | 整理・分析 振り返り | G②地域学習を通して、人々の地域に対する願いを知り、自分たちにできることを主体的に考えている。【発言】 | 図画工作 「幸せを運ぶカード」 国語「わたしの考えたこと」 | | |
| | | 12 | ○ この島の発展に尽くした先人や地域の方のすばらしさを紹介し、10年後の自分をイメージして、将来社会の一員として、何を大切にして、どんな成人に育っていきたいか発表原稿を作成する。 | 3 | | | まとめ・表現 | E③友達の発表で紹介された宝人について積極的に聞くことで、どんな人もこの島の発展を目指してこの島に住む人々の役に立とうと仕事をしていることに理解している。 |
| | | 1 | ○ お世話になった方に、感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。 ○ 単元を振り返る。 | 2 1 | | | 実行 振り返り | C⑤この学習を通して、自分の考えの変容が適切に新聞に表現されている。 |

5 本時の目標

生口島・高根島の町づくりに関わった宝人の新聞を友達と相互評価し合ったことを基に、自分の考えが伝わるよりよい表現になる構成や小見出しを工夫改善しながら書き直すことができる。

6 本時の展開

| 学習活動 | 指導上の留意点 (○) | 評価規準 【評価方法】 |
|---|--|--|
| 1 本時の学習課題を設定する。 ・ 単元計画の掲示物を見ながら、本時の課題を確認する。 | ○単元のゴールを確認し、これまでの学習を活かして、自分達の新聞を更によりよくするという見通しをもたせる。 | |
| 読み手に宝人のすばらしさがよりよく伝わる新聞の構成(わりつけ)や見出しの書き方を交流し改善しよう。 | | |
| 2 グループで新聞を読み合い、再校正の見通しをもたせる。 3 友達からもらった助言から自己選択し、新聞を修正する。 4 本時の振り返りをする。 | ○3人または4人グループを作り新聞の構成や表現の工夫・改善点について確認する。 ○友達に書いてもらったことについて質問や確認をする。 ○助言シートの中から修正に使う助言(付箋)を自分で選択し、新聞を修正する。 ○文末などの書き方の工夫のみ着目している児童については、前時までのワークシートを振り返らせ、構成の工夫の効果にも着目させる。 ○修正する部分について、助言を生かして変えた場合と変えなかった場合を分けて印をつけるなどし、メモを比べさせ修正するかどうか判断させる。 ○単元のゴールとつなげて、「助言し合うことで表現が深まった」「地域の宝人についての記事がよりよくなった」という視点で振り返らせる。 | C④宝人新聞を相互評価し合ったことを基に、自分の考えが伝わるよりよい表現になるよう構成や表現を工夫、改善しながら書き直している。 【ワークシート・行動観察】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A: 新聞の記事の中で最も伝えたいことは右上にのせるという○○さんの助言を参考にしてわりつけを工夫しました。読み手の興味をひきつける工夫について知れてよかったです。 (読み手の興味をひきつける為に自らが工夫し改善しようとしている視点)</p> <p>B: 友達のアドバイスを聞いて新聞作りの工夫が分かりました。○○さんの「△△」という助言を参考にして見出しを作りました。 (友達の考えを聞くことの良さを実感し新聞作りの改善をしている。)</p> <p>C: 友達のアドバイスを聞いて見出しを工夫します。(改善しようとする根拠が明確でない。)</p> </div> |